

「がんばれ日本」「がんばろう日本国」

市川治療室 No.273.2011.04

2011年3月11日（金）、午後2時46分。

日本の計測史上最大、世界の記録で5番目の大きな「マグニチュード 9.0」の地震が東京からわずか373キロしか離れていない宮城県牡鹿半島沿岸沖を震源地としておきました。

この地震が原因となる津波により東北地方から四国まで被害が生じ、特に岩手・宮城・福島 of 東北地方の被害は想像をはるかに超えています。

震災でお亡くなりになった方々、またご家族には心よりお悔やみ申し上げます。また、現在避難生活をしいられている方々には心からお見舞い申し上げます。

3月27日（日）に福島県郡山市内の避難所・複合コンベンション施設「ビッグレットふくしま」に「介護予防運動指導員」としてボランティアに行かせて頂きました。

この避難場所には福島第一原発から避難されてきた方々約2500名が生活されています。原発問題で避難を余議なくされた方々です。

避難生活ではほとんど身体を動かしていない状況なので「エコミ-症候群」が問題となります。

そこで福島県鍼灸師会のボランティアの仲間と一緒に避難施設の各場所（施設の玄関ホール、各階の部屋、通路などに毛布を敷いて寝起きしているその場所）で各100人位の方々に「エコミ-症候群」対策としてストレッチ・運動の指導をさせていただきました。

90歳台の高齢の方や赤ちゃんを抱いたお母さん、携帯電話に一生懸命だった高校生など多くの方々が運動をして笑顔になるお手伝いできたことには嬉しく思いました。

地震が起きた時、新幹線をはじめ電車の脱線はなく乗客は全員無事でした。関東大震災時には脱線事故などにより数百名の方々が犠牲になったと聞いています。

関東大震災時よりもより多くの乗り物が、より速く可動していたにも関わらず事故が皆無だったことは日本の技術が素晴らしいものであることを証明しています。

今回の大地震でも都心の高層ビルをはじめ被災地の建物も激震に持ちこたえました。日本の耐震技術は世界でも屈指のものであることを証明しています。

福島第一原発の現状は現在の一番大きな問題ですが、福島原発はフェルグバ 例の様にはならないとの意見があります。

「福島原発は地震直後にスムーズに自動停止したこと」がフェルグバ 例とは決定的に違うためです。東芝、日立という世界最高峰の技術レベルがフェルグバ 例にはさせなかったとも言われています。

地震発生から6日後には地震により壊された道路が復旧して通行可能となりました。海外では信じられない位の技術と称賛されています。

計画停電中、信号機が可動していなくても大きな交通事故は起きません。

今回の地震後、その映像を見た海外の方から下記のような反応がありました。
「なにがあって日本文化はこんなに一致団結してるんだろう。全員がやっつけないことを瞬く間に理解して、そういうことには近寄らない。やるべきことを認識して、

一番早くて良い方法は何かを追求する。…しかも、静かに」
世界一流の技術と日本文化が復興の可能性を高めてくれます。
「がんばれ日本」「がんばろう日本国」